

平成24年度  
第30回知事杯全道サッカー選手権大会  
苫小牧地区大会 開催要項

- |         |  |
|---------|--|
| 1. 目的   | 本大会は、苫小牧地区で第1種及び第2種の加盟登録した団体（チーム）の中から知事杯全道サッカー選手権大会出場する苫小牧地区代表を決定すると共に、競技を通して体力と人格の向上を期し、サッカーの普及発展に寄与する事を目的とする。  |
| 2. 主催   | 苫小牧地区サッカー協会  |
| 3. 主管   | 苫小牧地区サッカー協会 1種委員会・2種委員会  |
| 4. 後援   | 苫小牧市・苫小牧市教育委員会・（財）苫小牧市体育協会（予定）   |
| 5. 期日   | 平成23年5月4日（金・祭）・5日（日・祭）   |
| 6. 会場   | 苫小牧駒澤大学サッカー場   |
| 7. 参加資格 | (1) チーム<br>大会年度の第1種及び第2種に加盟登録した団体（チーム）で北海道大会及び天皇杯決勝トーナメント（全国）に出場できる条件を備えていること。<br>(2) 選手<br>大会年度の上記(1)項の当該チームの登録選手であること。<br>(3) 外国籍選手<br>上記(1)項、(2)項の資格を有する団体（チーム）・選手でその内の外国籍選手は1チーム5名までエントリーすることができる。   |
| 8. 競技方法 | (1) トーナメント方式による。<br>(2) 試合時間は90分とする。ハーフタイムのインターバルは15分とする<br>但し、1日に2試合のチームがあるときはその日の全試合を80分とする。<br>この時のハーフタイムのインターバルは10分とする。<br>(3) 時間内に勝敗が決しない場合の次戦への進出チームの決定方法は下記による。<br>ア. 1～3回戦・準決勝＝延長戦は行わず <sup>ハ</sup> ナドキック方式による。<br>イ. 決勝＝30分の延長戦を行い、決しない時は <sup>ハ</sup> ナドキック方式による。  |
| 9. 競技規則 | (1) 大会実施年度の日本サッカー協会競技規則により実施する。<br>(2) 各試合毎の出場選手登録は交代要員7名を含め18名（外国籍選手3名までを含む）とし、4名までの交代が認められる。<br>エントリー用紙に記載されたチーム役員の6名までのベンチ入りを認める。<br>(3) 警告、退場については（財）日本サッカー協会の規則による。<br>(4) 主審より退場を命ぜられた選手・役員は次の一試合の出場を自動的に停止し、以後の措置については苫小牧地区サッカー協会の裁定に従うこと。<br>(5) 抽選後の棄権は一切認めない。<br>尚、棄権が有った時は理由書を提出し、以後の措置については苫小牧地区サッカー協会の裁定に従うこと。但し、最低次年度の出場は停止する。 |

10. 組合わせ (1) 監督会議の席で協会役員立合いのうえ抽選を行う。  
(2) 前年度の優勝、準優勝チームはシードとする。
11. 参加手続 参加チームは次項の手続きを期日迄に完了すること。  
選手エントリー数は30名を限度とする。  
尚、背番号・ユニホームを含めエントリー変更は監督会議以降、認めない。
12. 監督及び  
運営委員会議員 参加申込書記載の監督及び運営委員は出席のこと、都合により出席出来ない時は責任有る者を代理として出席させること。
13. 開閉会式 特に行わない。但し前年度優勝チームは優勝杯を監督会議の席で返還すること。
14. 帯同審判員 参加チームは審判員を2名帯同し、大会終了まで帯同させること。  
2名中1名は3級以上のこと ※ 不帯同は認めない
15. その他 (1) ユニホームはエントリー用紙に記載された正・副2着を必ず携行すること。  
(2) 出場チームは運営委員を1名選出し期間中の競技運営に携わること。  
(3) 競技ボールはチーム持ち寄りとする。(未使用が望ましい)  
(4) メンバー票は4部作成し試合開始70分前までに本部に提出のこと  
1回戦分の用紙は監督会議の席で配布する  
(5) 試合開始70分前に審判員、両チーム監督、マッチコミッショナーによるマネージャ  
ズミーティングを本部席にて行う。合わせてユニホームの確認を行うので持参のこと。  
(6) 本大会中の負傷及び事故については、チームの責任で処理すること。  
なお、参加チームは障害保険の加入大会での傷害に対応すること。  
(7) 荒天、震災、雷等、不測の事態が発生して時は本大会運営委員会で協議し対処する。  
この結果、中断、中止、延期することがあることを留意のこと。  
(8) 優勝チームは知事杯全道大会に出場する。

以 上